

ウィッズ
Weeds

〒862

熊本県熊本市保田窪本町5-29

TEL・FAX共通

096-382-0861



共生社生協南支部組合員さんと 交流作業の感想

1月20日木曜日の朝10時30分からお昼の2時まで交流作業がありました。組合員さんからは、パック開きや牛乳パックのパルプはがしやパック積み出しを手伝ってもらいました。いろいろと組合員さんとお話とかして賑やかだったし、とっても楽しかったです。それとおにぎりとかサラダとか唐揚げもおいしかったです。

私たちも労働センターを頑張りますので、南支部の組合員さんも体に気を付けて頑張ってください。

最後になりましたけれど、今年もよろしくお願いします。これからもお願いします。

1月20日は有り難う御座いました。お疲れ様でした。

くまもと障害者労働センター 市瀬 恵



大人になって

私は1月15日に成人式を迎えました。だけど私ははっきり言ってあまり嬉しくありません。なぜかと言うと、最近労働センターのメンバーや友人から20才過ぎたら年を取るのが早くなるから2～3年ぐらいいはあつというまに過ぎると言う話を聞いたときは、別にこれと言って何も感じていなかったのですが、最近休みの日とかなんとかなく過ごす時など1日がすごく早く感じるので、20才過ぎたら年を取るのが本当に早くなることを考えると、また10代に戻りたいと思う時があります。でも、20才になって良かったと思うことは、今まではまだ未成年者だから……と言う感じで親の許しが無いといけなかったり、いろいろ心配されたけど、今からはあんまり親とかにも相談しなくてもいいし、飲酒も煙草も自由だからちょっと嬉しい気がする。

これから先は自分のする行動に責任を持って生活しないといけないとつくづく思います。良く最近いろんな人からどんな20代を過ごしたいかと聞かれるけど、時とか時間とかは自分ではどうしようもないから、私は今まで通りマイペースに生活しようと思う。

吉 村 春 美

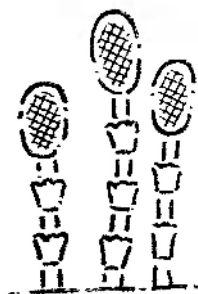
お願い

労働センターでは、今まで皆さんのご家庭で不要になっている電化製品を有り難く使わせてもらっています。

そこで、まだ皆さんのご家庭で眠っている品物がありましたら、センターまでお譲りください。

例えば、ミキサー、アイロン、ズボンプレス、布団乾燥機、冷凍冷蔵庫、湯沸かし器（プロパン用）、ワープロ、パソコンなど、どうぞよろしくお願いします。

☎096-382-0861



シリーズ アルコール依存症を知る！

シリーズその三



ここではっきり覚えておくべきことは、いったんコントロール障害を起こしてしまうと、一生治ることがないと言う事である。酒を楽しみながら健康な生活をするという、普通の酒飲みにはもはや戻れないのである。

コントロール障害があるかないかは、その人のアルコールの飲み方をみれば容易に判断することができる。

チェック・ポイント

- ① 飲酒の時間、場所、量などが、住んでいる社会の基準から外れてくる。昼間から飲む。職場で飲む、一日に日本酒にして五合以上を飲むなど。
- ② 毎日ほとんど同じパターンの飲み方をする。初期から中期の人は、ほぼ同じ時間に同じ量のアルコールを毎日飲んでいる。さらに進むと連続飲酒発作が出現する。目を覚ますと酒をのみ、酔っ払って寝てしまう。再び目を覚ますとまた飲むという事を繰り返しながら、何日も飲み続ける。このときは、飲むことと酒を買いに行くこと以外の事はほとんど何もやらない。末期にはこの連続飲酒発作と断酒を繰り返すような飲み方になる。
- ③ 今日は少量で切り上げようと決意して飲みはじめるが、絶対にその通りに実行できない。また、何度も断酒を試みるがいつも失敗に終わってしまう。
- ④ 「これ以上飲んだら命が危ない」「離婚する」「解雇する」などといわれてもなお、酒を止めることができない。
- ⑤ ふるえ、発汗、吐き気、嘔吐、焦燥感などの離脱症状を予防したり、治したりするために飲酒する。この時は、強度のアルコールでも水を飲むよりも早く飲む。
- ⑥ 朝酒をする。
- ⑦ いつでもアルコールを飲めるように準備している。夜中でも買える所を知って

いる。酒を隠しておく。自動販売機用の小銭を欠かさない。

- ⑧ 隠れのみをする。
- ⑨ 宴会に行くときはあらかじめ飲んでいく。また人が注いでくれるのを待てずに手酌で飲む。

2 アルコール離脱症状群の出現

アルコール離脱症状群とは体内のアルコールが減少しはじめると出てくる数々の症状で、そのまま断酒し続ければ、たいていは数日以内に楽になる。また飲酒によって体内のアルコールの量をあげることによって消失するものが多い。

アルコール離脱症状群は、その出現の仕方によって、大きく二つの群に分けることができる。

〈1〉早期離脱症状群

飲酒を止めて数時間すると出てくる症状で、そのまま断酒すれば数日のうちによくなる。飲酒によって消失するが、この場合は飲んだアルコールが新たな離脱症状の原因になるという悪循環を繰り返すことになる。

症状としては、手や全身のふるえ、発汗（特に寝汗）、不眠、吐き気、嘔吐、血圧上昇、不整脈、焦燥感、集中力の低下、幻聴、てんかん様けいれん発作などがみられる。

「幻聴」はアルコール幻覚症とも言われ、誰も話している人がいないのに人の声が聞こえてきて、自分の悪口を言ったり、命令したりする。そのため怖くなって遠くまで逃げる人がいる。

「てんかん様けいれん発作」は、アルコールてんかんと呼ばれるもので、90パーセント以上が断酒後2日以内に起こる。発作の回数は1～3回で、いわゆる大発作の形で起こる。治療は断酒を続けるのみでよく、抗けいれん剤を服用する必要はない。

私は、今回入院して我楽苦多みたいになりましたが、この我楽苦多とは読んで字のごとくですが、もう一つ意味があるのです。それとは、この我楽苦多とはガラクタと言います。ガラクタとはまだまだ使いみちがあるということです。

つづく
編集長

連載 北野 誠一 講演録 No. 4

「障害者運動と共同作業所・共同事業所運動の展望」

次、3番目です。共同作業所、共同事業所運動です。並べて書けば、批判もありましょうが。私は、将来、遠い将来かもしれませんが、障害者運動は一つになるべきだと思っています。ただ、その時注意しなければならないのは、障害者自身が主体的に、自分たちで決定して、自分たちで運営するという視点をきっちり確立して、日本の障害者運動は一つになっていって、支援者を巻き込んで、いいパートナーシップで、障害者が中心となって、支援者という人間関係を作って一つの大きな運動を作っていく。これが、課題だと思います。そのためには、共同連の役割は大きいと思います。共同連の共同事業所運動は、かなり世界的なレベルの運動だと思います。

共同事業所運動、共同連の運動の世界的レベルはどこにあるかという事を話します。アメリカの運動はある意味では、遅れています。あきらかなのは、アメリカでは自立生活運動をやっているのは、基本的には頸椎損傷の方とポリオの方と、一部の多発性こうか症、そういう方がほとんどです。少し視覚障害の方と連帯している自立生活センターがあります。少し聴覚障害の方と連帯している自立生活センターもありますが、知的障害とか精神障害の方とか、あるいは脳性マヒの方と一緒に活動している自立生活センターは、ほんとに稀です。そういう運動の視点をアメリカは持ち

えていない、ということです。共同作業所の世界性というのは、障害別の閉鎖性を乗り越えようと努力していることだと思います。いろんな障害の方と手を結んで、地域で一緒に生きていこうと、真剣に問題意識を持って、取り組んでおられます。それが共同事業所の世界的レベルの視点だと思います。誇りに思っていると思います。大切にしてほしい視点です。

二つ目は、障害を持っているスタッフと障害を持っていないスタッフとの良い人間関係を生み出そうと努力しています。はじめから障害を持っている方は被指導者、非障害者は指導者というような間違った決まりきった関係を固定してしまえば、新しいものは生まれてきません。障害者と非障害者がどんないい人間関係を作っていけるか、どういう新しい人間関係を生み出していけるのかを真剣に考えているのが、この共同連に参加されている仲間だと思います。これは、大事です。世界的にみてもやっていません。青い芝の運動の流れや、その他歴史的な運動の流れのなかで勝ち取ってきたものです。時には、行き過ぎたり、しんどいこともあったでしょう。今もあっているでしょう。しかし、今までの授産施設などと違った、何か新しいものを生み出そうという、必死の努力があります。これは、大事にしてほしいと思います。しかし、しんどいばかりでは、いつま

でも安い給料では、何十年も続きません。行政を巻き込んで、取れるものはしっかり取って、お金を活用する方法の研究をして、活動を続けていってください。

世界のなかでも、いい活動をされている方はすべてこういうものを持っています。一つは、草の根性です。草の根の運動であるということです。草の根の運動であることは、とても大事なことだと思います。われわれは、行政に係わったり、政治をしたりしますが、その時地域で共に生きるという視点をなくしたらいけません。先程話しました、各障害別の全国組織も、はじめは草の根の運動でした。ところが、全国組織になって、専門家との付き合い、行政との付き、合いそんな中で「俺たちの言うことさえ聞いていれば、みんなはいいんだ」ということに、だんだんなくなって、地域で活動するという視点を失っていかれました。ですから、地域で本当に困っている人間、発言している人間の声を聞こうとはしないという批判を大きな組織は受けています。みなさん方も、例えば、どんなに大きな力を持っても、地域で障害者と非障害者が共に生き、地域に根づく草の根性を大事にしていってください。

当事者指導性。これは、共同連の基本姿勢でもあります。障害者、当事者自身が主体的に活動できる仕組みを作っていく。

それから、権利擁護性です。これは実は難しいことです。今後力を付けて、行政と交渉するようになると、行政の方

も、力を持っている団体を押さえておこうと、お金を出します。ある程度お金をもらっていると、行政と敵対してお金をもらえなくなると困るので、行政に対して強い意見を言わなくなったりします。こんな意味で、お金の関係、人間関係などができくると、主張することが難しくなります。地域で生きる仲間が、生活保護を拒否されたり、地域で活動しようとする時差別されたりした仲間の権利を守るためには、行政や関係機関とシビアな関係を常に持っていないといけません。だから、じょうずに行政と係わっていかなければなりません。行政といい緊張関係のあるパートナーシップを作っていってください。言うべきことは、はっきり言う。貰うべきものは、もらう。権利擁護の視点をなくさないようにやってください。

最後に、自由な発想と自由な活動です。共同連の活動が大きくなっていくと、中心で今活動されている方が、権威とまでいわなくても、仲間に対して示せるものができくでしょう。そういう時に、トップダウンではいけないと思います。上で決めて、地域で活動している共同連の作業所は、あれいいな、あれまねしようか、あれを学びましょう、というような教えるほう、学ぶほうが固定化された関係は、面白くありません。やはり、各地で各グループで、それぞれに面白いことをやり、いろんなありとあらゆる活動をして、それぞれ自分たちが中心だと思い、新しいものを生み出し、発表し合い、相互に学びあって、アイデアを出して盛り上がっていく、そういう視点

を大事にしてください。

共同事業所運動はどこまで来たのかということですが、一つは共同事業所というのは重度の障害者の働く拠点として、共同連の事業組合でいろんなことされています。共同連の事業組合や基金のアイデアというのは、ものすごく面白いと思います。こういう発想というのは、専門家などからは出てこないのです。本当に仲間を助け、仲間を作っていく、相互の自助活動として素晴らしいものだと思います。

それから障害者運動と障害者の地域生活の拠点としてあります。中部では他の仲間とともに大阪の自立生活センターを作っていこうとしています。当事者が自分で運営して、様々な権利擁護活動やサービスの提供を行う拠点を作ろうと活動されています。それから旅立ちの仲間の会では、知的障害の方の地域のセンターを作って、地域で当たり前のように生活するグループホームや、在宅で生活する知的障害の方へのいろんなサービスや権利擁護の活動をするための準備を進めています。そういう視点というのは、これからとても大事になってくると思います。

共同連の仲間は、一つの共同体という意識があると思います。共同体という意識は、素晴らしいものです。同じ思想を持ち、同じ感性を持ち、同じ活動をして。しかし、自分たちのサービスを共同体外へは、違った考えを持つ人には提供しないという閉鎖的な考えは間違っていると思います。同じ考えを持った人間にしか接点を持たなければ、共同連の運動

や事業所の活動が広く地域での結びつきを作っていく視点を失ってしまいます。当事者が主体的に運営することは大事ですが、だからといって、自分たちのサービスは自分たちしか使わせないという発想は、自分で自分の首をくくってしまいます。ですから、共同作業所や自立生活センターというのは、中心メンバーは障害者が自分たちで運営し、地域を変えていく、仲間の権利を守っていくという強い発想を持っていることが大事ですが、サービスの提供は、現在は強い問題意識を持っていない、ただ困っているだけかもしれない、あるいは興味本位かもしれない、そういう障害を持った仲間にも自由に使ってもらえるようなそういう活動になってほしいです。そうでなければ、地域でいろんな障害を持っている人たちが、今後自立生活をしていく、己の考え方を変えていくというチャンスを提供できなくなってしまいます。今後、各作業所が地域で生活されているどんな障害を持った方にもサービスを提供するという、そういう視点も検討していただければと思います。ただ、このためには当然お金が要りますから、どんなふうにお金を集めるかということも考えなければなりません。 つづく



1月の日報から

1月のパック回収から

1月10日	仕事始め 通信準備（野口、倉田） 在庫調べ（市瀬、入江） パルプ作り（野口、市瀬）
11日	配達（網田小学校） パック回収（東町小、東町中、 託麻西小学校）
12日	くまもと生協パック持ち込み 営業（倉田）／ワープロ（入江）
13日	積み出し 通信発送作業／パック開き
14日	通信発送作業 アイロンかけ／紙すき（大久保）
18日	ワープロ（久島）／営業（倉田）
19日	くまもと生協パック持ち込み 贈呈式（倉田）／パルプ作り
20日	積み出し 交流会（共生社南支部）
21日	通信編集会議／紙すき
24日	パック作業 熊福連会議（倉田） ワープロ（久島）
25日	パック作業 パック回収（帯山小、秋津小、向山小 益城中央小、山ノ内小、託麻西小 洒水東小、帯山中）
26日	松橋養護学校・松橋高校配達
27日	パック積み出し 熊福連会議（倉田） パック作業／紙すき
28日	事務局会議 熊福連会議（倉田）／紙すき（大久保）
31日	パック作業 ワープロ

1月11日	東町小学校	21.5kg
	託麻西小学校	7.9kg
	向山小学校	41.1kg
	東町中学校	24.1kg
12日	西原小学校	26.1kg
13日	電子技法	14.3kg
	ふくし生協	0.5kg
14日	個人	7.1kg
17日	キッチン岡田	11.6kg
18日	ソロブチミスト	10.7kg
	熊大生協	35.2kg
19日	帯山小学校	3.4kg
24日	月出小学校	4.2kg
25日	キッチン岡田	4.7kg
	帯山小学校	30.9kg
	秋津小学校	44.3kg
	向山小学校	40.8kg
	益城中央小学校	81.3kg
	山ノ内小学校	46.8kg
	託麻西小学校	8.3kg
	洒水東小学校	5.6kg
	帯山中学校	17.3kg
	出水小学校	17.6kg
26日	長嶺小学校	155.9kg
28日	波野小学校	1.2kg



編集後記

いつも労働センターに牛乳パックを回収していただき有り難う御座います。さて、ウィズでは4月号より新企画を掲載したいと思います。どうぞお楽しみにネ。

また、皆さんの原稿をお待ちしております。

編集長 久島 雅樹

一九八〇年五月十三日第三種郵便物認可（毎月三回一・五・十の日発行）
発行人 熊本県身体障害者団体定期刊行物協会
熊本市国府三丁目二一八九（友村方）
（定価五〇円）